



お茶の水女子大学の取り組み

女性研究者の育成

[報告内容]

「女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築」

- ・ 取り組みの必要性: 女性研究者の現状と目標
- ・ プログラムの概要: 三要素
 - 研究グループの活動状況
 - 「9時-5時」体制の実現に向けて

2007.4.11 羽入佐和子



お茶の水女子大学
Ochanomizu University

「女性研究者に適合した雇用環境モデルの構築」

Career Opportunity Support Model from Ochanomizu Scientists

文部科学省科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成プログラム

2006年7月開始



女性研究者の雇用環境の整備

実験



効果の
検証



雇用環境
モデル
の構築

問題点？





実験可能な環境

十分な数の女性研究者

女性研究者養成の取り組み



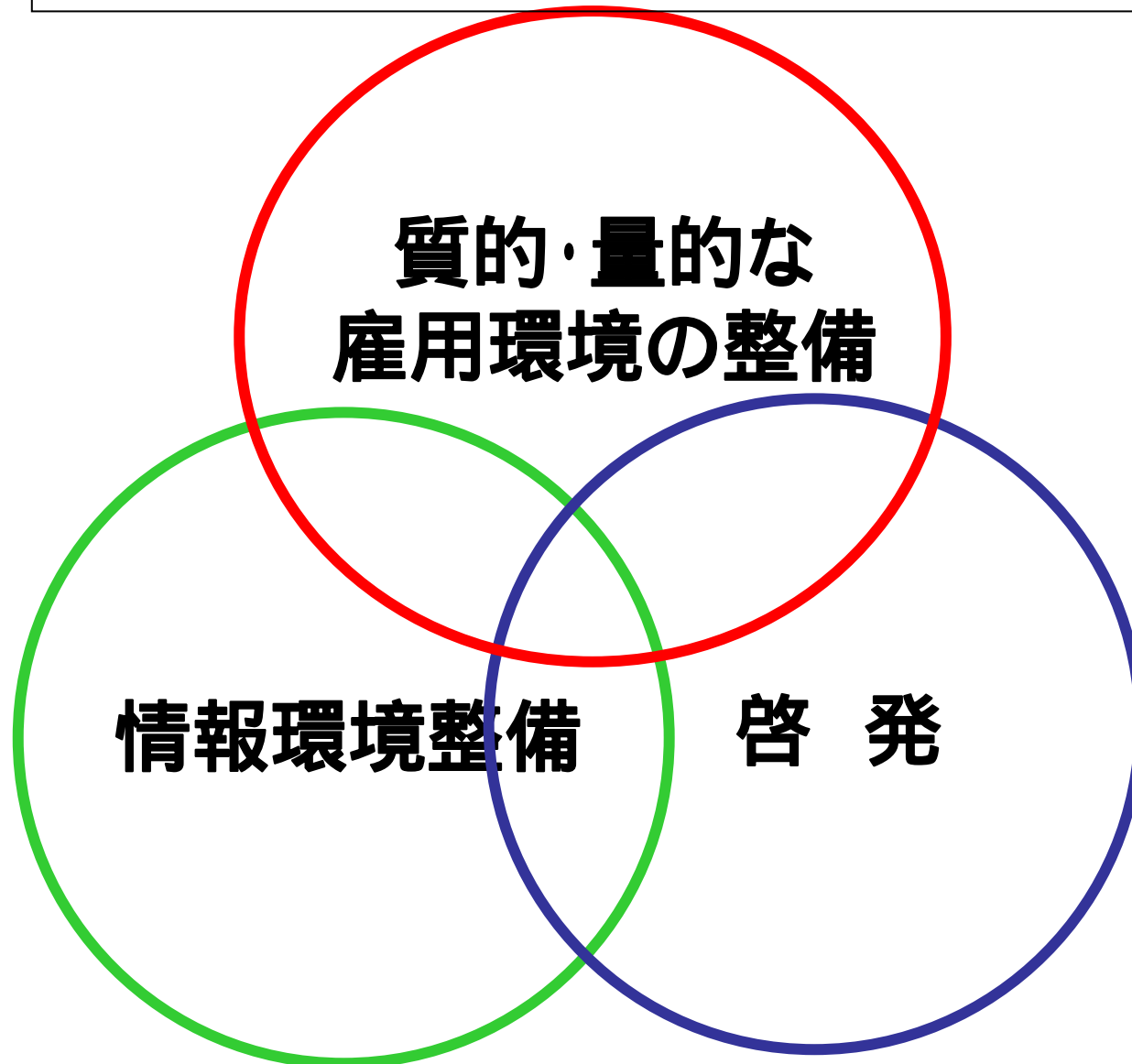
仮説の抽出、設定、検証可能なサンプル



普及可能な研究環境モデル
の提案



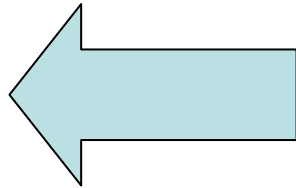
新たなモデルの3つの仮説





雇用環境モデルの検証と普及

指標作成と
社会への普及

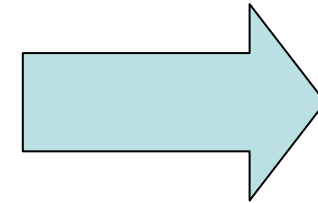


多様な女性研究者
支援メニューの提供

勤務時間9時から5時の徹底

学内の保育所と隣接する独身寮
との連携による女子研究者支援

指標作成と
社会への普及



女性研究者支援
情報バンクを設置

女性研究者の
諸活動を記録

ロールモデルによる
若い女性への啓発活動



活動状況(1)

- ・ 女性研究者支援プロジェクト 報告会(隔月)
- ・ 女性研究者グループへのヒアリング
(8月～9月)
モデル研究者、研究グループの研究状況確認。
研究者の仕事の内容、時間配分を調査。
- ・ 講演会 2006.11.21
- ワークライフバランスを目指して 「お茶大モデル」の構築 -



研究者5名の研究グループ

- 助 手：有機化学
 - 講 師：分子進化学
 - 助教授：細胞生化学
 - 助教授：身体運動科学
 - 教 授：中性子散乱
- RF・AA 10名

情報バンク

女性研究者支援プロジェクト推進室

メンター

女性支援室

アドバイザリーボード



研究グループの18年度活動報告

- **研究者の成果**

キーワードの変化:

「無秩序な全力投球」 「統制の取れた全力投球」

「時間配分・集中力up」

「研究推進力のup」

「ワークライフバランス」

- **評価**

自己評価

学生の評価



活動状況(2)

・「9時5時」ワーキンググループ

[検討・調査]

学内調査

事務体制:各課各係のヒアリング
(業務内容、繁忙期調査)

教育体制:各学部長、研究科長へのヒアリング

研究体制:モデル研究者グループへのヒアリング

学外調査

他大学、他企業の取り組み



「9時5時」体制の取材



9時5時体制の実現に向けて

- 3月28日(水)の実施

事務局13組織 (10課 + 2室 + 企画経営統括本部)の実施状況

平均76%実施

100%実現---6組織

80%台 ---2組織 事務組織移転

60%台 ---2組織 入試関連、人事

55% ---1組織 打ち合わせ

21% ---1組織 成績、新年度準備

0% ---1組織 移転

・意見:



今後の課題

- 研究者支援の多様化
- 研究成果の向上
- カリキュラムの充実
- 高品質の情報の共有
- 「9時-5時」体制の実現 = 「心おきなく」定時帰宅が可能な
環境の構築



ワークライフバランスの実現
女性研究者の増加